



校長

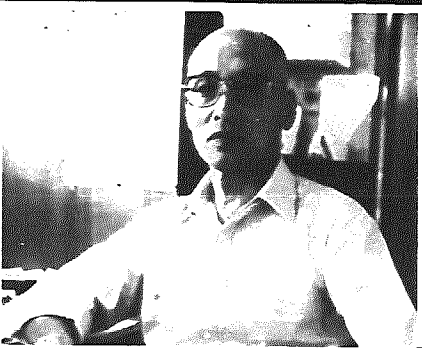
が誘致したということもあって、注目されていきましたから、教員も生徒も燃えてましたね。もちろん今だって一生懸命です。ただ、創立の熱気があつたんです。専門学校も入ると進学率は五〇%を超え、就職も頑張りました。

今は学校として安定してきた分だけ以前より活気が薄らいできたことは事実でしょう。周りの目がマイナスの部分に向きがちなことにも気になります。生徒は敏感ですから、どうせ黒高だみたいと思いがちなんです。戦わずして負けてしまふところがありますね。

元気が足りない、それは今の高校生全体に言えることです。ただ、夢や理想がない。自分の可能性に自信を持って挑戦してほしい。しかし、うちの生徒はいいところをいっばい持ってます。本人さえその気になればどこにも負けません。実際に社会に出て卒業生は頑張ってますよ。

卒業生がよく学校にくるんです。転職や結婚の相談も受けます。こんな高校はあまりないですね。生徒と先生の対話が続いているんです。それを大事にしたいですね。

分校から二十年近く黒高で教える小島寿夫先生(善久)
安定した分創立時の熱気が薄らいだが、生徒は可能性を信じて挑戦してほしい



最初にお断わりしておきたいのは、中学校の進路指導は生徒をどこの高校へ入学させるか、というところだけではなく、生徒の将来、職業、生き方を今から考えようということなのです。生徒の適性に合った職業は何か、その職業につくにはどんな進路コースがあつて、どんな進路コースを選べばいいのか、を生徒、父母、先生で話し合うわけです。

ですから、二年生のとき職業興味調査をし、生徒に自分の長所、短所は何か理解させるようにします。三年生になって、進学ではなく進路希望調査をして、七月に父母進路説明会、十二月に進学説明

会を開きます。ただ、現実問題として中学校で将来の職業が決まるわけではありませぬし、例年三百五十人ぐらいの卒業生のうち九八%は進学ですから、いきおい高校進学が中心になってしまっています。

黒高中学は新潟学区という県内でいちばん倍率の高い学区にあります。新潟学区には公立の普通校が十一校あり、黒高中の生徒、父母を含めて新潟志向が強いのです。黒高高校が他校に比べて高等教育の場として劣っていることはありません。ただ、入試の難易度や高校のイメージで生徒の人氣が今一つというのは事実です。

学校でどこの高校へ行きなさいと指導はしません。生徒、父母に資料を提供しアドバイスをします。生徒の意志を大切にします。黒高高校へは毎年八十人近く入学しています。中学と黒高で連絡協議会を作り、十一月には生徒をつれて黒高校の見学をします。黒高高校はイメージアップしているようですし、新潟学区は商業高校が少ないので、商業科ができれば、とも思っています。

高等教育の場として他校に劣らない。入試の難易度やイメージで人氣薄に黒高中進路指導担当の梅山泰男先生

***黒高中卒業生の年度別進路状況**

※全日制進学には、高等学校進学を含む()は内数

	58年度			59年度			60年度			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
卒業生総数	179	175	354	189	156	345	176	163	339	
進学	全日制	171	165	336	178	154	332	166	163	329
	(%)	(95.5)	(94.3)	(94.9)	(94.2)	(98.7)	(95.2)	(94.3)	(97.1)	
	定時制	2	5	7	2	0	2	0	0	
(%)	(1.1)	(2.9)	(2.0)	(0.5)	(0.6)	(0.6)	(2.3)	(0)		
合計	173	170	343	179	155	334	170	163	333	
(%)	(96.6)	(97.7)	(96.9)	(94.7)	(99.4)	(96.8)	(96.6)	(100)		
就職	3	3	6	1	0	1	3	0	3	
就職進学	0	(3)	(3)	0	(1)	(1)	0	0	0	
各種学校	定時制	0	0	0	(1)	0	(1)	0	0	
	のみ	2	2	4	4	1	5	3	3	
在学・その他	3(2)	(2)	5(4)	5	0	5	0	0		

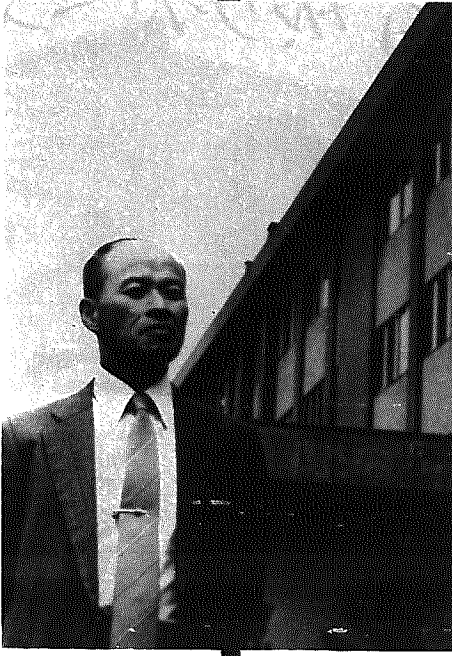
***黒高中60年度進学校と進学者数**

〔公立〕新潟6 新潟中央18 新潟南10 新潟西22 新潟江南11 黒高78 高志23 沼垂16 新潟商業18 新潟工業21 新潟東工業0 巻工業1 巻農業2 興農館0 長岡高専3 その他5 計234人

〔私立〕新潟明訓14 北越22 新潟青陵25 新潟清心1 敬和学園2 新潟第一13 東京学館19 新潟文理2 計99人 総計333人

※進学者数0の高校は前年度まで入学者があつた高校(卒業生総数339人、進学率98.2%)

石橋校長先生に聞く



石橋政雄黒高校長。高には開校から昭和五十六年十月まで赴任、今春から校長として再赴任。「一生、働く若者たちのそばにいたい」と教職の道へ。以来、三十余年、「生き生きとした生徒の顔が最大の喜び」。新潟市女池五十七歳。

まだ、歴史は浅いのです。可能性のある高校です。これから、みんなで学校をつくっていく時代

信濃川、また自動車試験場の問題とかを積極的に取り上げていますし、地元の神雷太鼓も生徒が習っています。教育の成果は地域に還元しなければなりません。特徴のある学校にしたいのです。

これからが黒高高校の発展期と考えてよいですか。

校長 創立十周年を昨年祝いました。他校に比べれば歴史は浅いのです。可能性のある高校です。これからだと思えます。これから、黒高高校を生徒と先生と地元で作っていく時代だと思えます。黒高の学校づくりにぜひご理解とご協力をお願いします。

期待しています。

(聞き手・五十嵐広報担当)

再度赴任されて、今の黒高高校をどう見えていますか。

校長 四年半ぶりに黒高高校にまいりまして、わたし自身は喜んでいますが、学校は施設がほぼ整いまして、これからどう中身を充実させていくかが課題です。先生は以前にも増して熱心です。生徒はクラブ活動などみまますと若干元気がないかな、と思っています。

前任校(西新発田高校、能生水産高校)に比べて違いは。

校長 西新発田は男女共学になったばかりですので、黒高が開校したころに似た熱気がありました。能生は定時制の高校の担当で生徒が純粋でした。黒高の生徒は都会的な面を持ってます。生徒の学力には大きな差はないと思います。

黒高生の生徒像は。

校長 素直さを持ってます。一人一人と話し合うと実にいい生徒なんです。可能性を秘めた子が多いです。それを伸ばしてやるのがわたしたちの務だと思えます。

体育祭など一、二年生はちよつと気乗りしないところがあるんですが、三年生になると驚くぐらい頑張ります。やはり、黒高の生徒だという意識がだんだん深まってきたのだと思えます。

先生がたはどうですか。

校長 まず一生懸命ですね。生き生きと前向きでやろうと言っているんです。生徒指導も親身になって考えます。対話を欠かさないことが大事です。わたしも教員はだれのためでもない、生徒のためにいるわけですから。

黒高は自由だ、と生徒から聞いたのですが。

校長 わたしも生徒は明るいなと思えます。卒業した生徒もよく学校に遊びにきてますね。

一部であまりよくない評判もありますか、その点は。

校長 たしかに心配な生徒もいます。

生活習慣やマナーが悪いところもあります。でも、注意すればなおる生徒ばかりなのです。この前も空き缶を畑に捨てた生徒が、地元の人に注意されて、拾ってあやまつて行きました。わかっているんです。だから、学校で決めつけすぎないようになっています。喫煙などはわたしが直接指導しています。学校は学ぶところです。学ぶ努力が大事だと言つて聞かせます。

PTAのかたからとても学校と父母の連絡が密だと聞きました。

校長 地区でも活発です。文化祭では父母のバザーなどがありまして、校庭作りも努力していただいています。PTAのOB会もあるんです。

進路指導はどうされているのですか。

校長 本人、父母、学校と丁寧にしています。進学者が少なくなつ

てきていますが、今後は以前より増えていくのではないかと思います。この高校で進学や就職に不利ということはありませぬ。

施設で不足しているものや欲しいものはあるのでしょうか。

校長 相撲道場がほしいですね。それと学園広場、昼休みなど先生と生徒が語らえる場ですね。グラウンドの大改修も必要です。これは県とも話していく予定です。

イメージアップも必要ですね。

校長 地元や黒高中学校にいいイメージを持ってもらえるようにしなければと思います。文化祭や体育祭もPRしています。

他校に負けないような。

校長 同じころ開校した新潟向陽や白根高校には負けたくないのが本音です。

地元とも関係が深まっていいばいと思つていますが。

校長 一町一校の高校です。黒高というところは地域における文化の殿堂としての役割イメージも担つていくような高校でありたいと思えます。ですから、文化祭では郷土、

